



きららの実

KIRARANOKI-TSUSHIN

あなたがいるからわたしはうれしい



認定NPO法人 きららの木 〒631-0061 奈良県三碓町2250-11 TEL:0742-41-2801 FAX:0742-41-2802 <https://www.kiraranoki.or.jp/>



認定NPO法人に認定

令和3年3月17日

ご寄附いただきみなさまが
寄付金控除を受けられる
認定NPO法人に変わります



認定NPO法人の認定証



多機能型事業所が開所

令和3年4月1日



多機能型事業

放課後等デイサービス（重症心身障害児）
生活介護

短期入所



利用者のみなさんが
横断幕を作つてお祝い



認定NPO法人への認定、新規事業所開設にお力添えをいただき、ありがとうございました。

暑中お見舞い申し上げます

きららの木は2009年7月8日に法人格を取得し、今まで多くの方々からご指導、ご支援をいただきました。このたび、皆様からのご寄附に控除をお受けいただける「認定NPO法人」に、奈良県より認定いただきました。名称を改め「認定NPO法人きららの木」となります。多くの方々のご支援の賜物と考えます。今までより一層、福祉のまちづくり、誰もが暮らしやすいまちづくりに精進してまいります。これまで同様、皆さまのご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。皆様とのご縁に心より感謝申し上げます。

また、奈良市三碓町に、「きらら」を「日向(ひなた)ここ」に名称変更した放課後等デイサービス（重症心身障害児）、新規事業として生活介護「瑞(あお)い実」、短期入所「きららの木ショートステイ月夢」の3事業を行う建物を新設し、すでに事業を進めています。多くの皆様のご支援のおかげです。時を経て今日を迎えることができました。

しかし、道は未だ半ばです。障害の有無にかかわらず、誰もが一度きりの自分の人生を自分らしく生きていきたいと、常に願っています。それぞれの人が命と存在をともに大切に支え合う社会に築くことを目指して、これからも励んでいきます。引き続き、ご支援いただきたく存じます。改めて、感謝申し上げます。

認定NPO法人 きららの木
理事長 江川 美奈子

認定NPO法人とは？

待ちに待った「認定NPO法人」の認定。その本質を、Q&A方式でまとめました。

Q：「認定NPO法人」とは、そもそもどんなものですか？

A：熱心に活動に取り組んでいるNPO法人に広く寄附し、活動を支援しようと2011年（平成23年）に始まった制度です。寄附により税制上の優遇措置が受けられます。

Q：どんなメリットがありますか？

A：個人が認定NPO法人に寄附した場合、「特定寄附金」として「所得控除」か「税額控除」のどちらかが受けられます。つまり、通常は国に納めるべき税を、信頼する認定NPO法人の支援のために寄附できるということです。

Q：では、NPO法人は全部「認定」を受けるようにすればいいと思いますが。

A：しかし、そう簡単ではないのです。最大の難関は「パブリック・サポート・テスト（PTS）」です。寄附の割合が総収入の5分の1以上ある「相対値基準」や、3,000円以上寄附する支援者が年平均で100人以上いる「絶対値基準」をクリアしなければならず、自治体が条例で個人住民税の寄附金税額控除の対象に指定していること（条例個別指定基準）も求められます。

Q：それは大変ですね。

A：はい。今年2月末現在、全国で「認定」を受けているのは1,152法人で、全体の2.3%にすぎません。また、全NPO法人の中での認定NPO法人の割合は、岩手県や滋賀県では4%を超えていますが、0%台の府県もあります。

NPO法人への支援は、大きな社会貢献につながります。今後も、ご支援をお願いいたします。

令和3年度 賛助会員ご加入のお願い

認定NPO法人 きららの木



一人ひとりを人として大切に

令和3年度 賛助会員ご加入のお願い

令和3年3月17日に、奈良県より、念願の認定NPO法人として認定をいただきました。皆さまのご支援の賜物です。このことにより、ご寄付、賛助会費にご協力いただきます皆さまが、所得税の寄附金控除と住民税の寄附金税額控除の適用をお受けいただけすることとなります。

今後の寄附金、賛助会費の使途目的は、子どもからご高齢の皆さまが楽しく集え憩える場、しんどさを抱える人が安らぎを得られるコミュニティとしての機能を果たす場と、通所されています利用者の皆さまが安心して暮らせる住まいの場の複合的な施設の建築費用に充てさせていただきます。

今までより一層、福祉のまちづくり、誰もが暮らしやすいまちづくりに精進してまいります。皆さまのご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

年会費

個人一口 3,000円 企業・団体一口 5,000円

- ・何口でもご加入して頂けます。
- ・会費は活動支援費として大切に使わさせて頂きます。
- ・寄附金控除(所得控除)又は寄附金特別控除(税額控除)のどちらかを選び適用を受ける事ができます。
- ・広報誌等をお送りいたします。

振込先

南都銀行 西ノ京支店：普通 2046124

ゆうちょ銀行 : 00920-5-288117

お問い合わせ先

認定NPO法人 きららの木 担当：山本・江川
〒631-0061 奈良市三碓町2250番11

TEL 0742-41-2801 FAX 0742-41-2802

お振込み頂きました節は、お手数ですが賛助会員入会申込書にご記入の上、上記までFAXをお送り下さい。
又は、入力フォームから広報誌等及び、寄付金受

令和3年度 賛助会員 入会申込書

会費

通信欄

新規の方は、通信欄に紹介者又は

きららの木



令和3年度賛助会員入会申込フォーム

この度は、ご入会頂きありがとうございます。
お振込頂きました節は、お手数ですが必要事項をご入力頂き、送信ボタンを押してください。
よろしくお願いします。

*必須

該当する項目をチェックしてください。

- 新規加入
 緩続

該当する項目をチェックしてください。

- 個人
 団体・企業

お名
フリ
面

こちらの入力フォームも
ご利用ください。

にチェックを入れてください。

入会 繰続
 企業・団体

名

活動報告

放課後等デイサービス たのしい りーふ



さまざまな制作活動で、感性の成長を目指しています。



今日のお昼はお弁当。
食べたいものを選んで、お金を支払います。



2011年5月1日に「児童デイサービス りーふ」として開所した「放課後等デイサービス たのしい りーふ」は10周年を迎えることができました。当時は知識も経験もなく、「寄り添うとは…」を日々、問い合わせながら子どもたちと一緒に過ごし、理事長そして仲間とともにここまできました。

土台を築くための苦労は計り知れないものだったと思います。土台がなければ家は建ちません。家がなければ生活はできません。建物は賃貸で、すべて手作りだった壁や床などの内装には、関わった皆さま一人ひとりの想いが込められ、本当に温もりが感じられるお部屋でした。

三碓へ移転して、「瑞い実」「日向ここ」が開所し、「きららの木 いろ葉」「たのしい りーふ」と合わせた3つの建物が集結して、それぞれの利用者さんと会える喜び、それぞれの職員が側にいる心強さを感じ、夢が着々とかなって、現実となる瞬間をともに祝わせていただいたことに、心からの幸せと感謝をかみしめています。

10年間の重みと理事長の想いをしっかりと職員に伝えるとともに、コロナウイルスの早い収束を願いながら、まだまだ終わりの見えない中、子どもたちとともに「今」できることをできるかぎり楽しみ、一瞬一瞬を大切に生きることこそ、今の私たちの使命だと感じています。
(倉本)

多機能型 児童発達支援・放課後等デイサービス

たのしい りーふ

芝生の中庭でのかけっこ
あー、きもちいい！



「たのしい りーふ」では、進級した子どもたちがたくましくなり、幼稚園や保育園に入園した子どもたちや初めて事業所を利用する子どもたちが新しい環境に緊張しつつも慣れてきた様子がうかがえます。

個々それぞれの得意な面を活かしながら必要なところにアプローチできるよう、日々職員同士で共通理解をしています。そして、なによりも子どもたちが楽しい雰囲気の中でワクワクしながら参加できるプログラムを考えています。「こんなことができた！」「初めて参加したけれどすごく楽しかった！」

「もっとやってみたい！」など自信や意欲に繋がることを期待しています。

室内で
うんて
「自由
下あそ
に「遊び
基地」
をつくります。



今年は「たのしい りーふ」が開所10年という記念すべき年です。10年前は子どもたちも少なく、小規模なスタートでしたが、4月に移転してきた「日向ここ」を合わせて、大変にぎやかになりました。また「たのしい りーふ」や各事業所に新しい職員が増えたことで新風が吹き込み、全員で気持ちを新たに「支援」について考えたり、支援の方法を伝えたりすることで、自分の支援や接し方を振り返る機会となりました。



近くの「あひる公園」を探検！

また、子育てにおいて様々な悩みや困りごとが絶え間なくでてきますが、その都度子どもさんの様子や気持ちを受け止めながら一緒に考えています。

おうちの方が「『たのしい』に行ったらきっと今日も楽しいことがいっぱいあるよ！」と子どもたちに声をかけていただきたいと同時に、それに応えるべく子どもたち、そしておうちの方にもワクワク楽しい気持ちになっていただけるよう努力していきます。
(大辻)



生活介護 きららの木 いろ葉



お雛さまに塗る釉薬の調整 慎重に！慎重に！

また、4月には利用者のみなさんに大人気の音楽活動、「エンジョイムジカ♪」のプログラムも再開しました。寺ちわびた音楽です。音楽療法士の資格を持つ職員が、コロナウイルス感染対策を講じながら活動の仕方、楽しみ方を工夫して実施しています。まだまだ大声で合唱とまではいきませんが、音楽が日々の生活をどれほど潤してくれているか、改めて実感しました。



人気のプログラム「エンジョイムジカ♪」

新型コロナ感染症の収束はまだ見えませんが、職員、利用者の皆さん、保護者の方々と共に協力し合い、継続し感染予防に努め、日々笑顔で活動を行っています。コロナ禍の中でも「どうしたら安全に楽しめるプログラムになるか」、「こんなイベントにしたら利用者さんの笑顔につながるか」など、職員一同、日々工夫しています。

現在、制作に力を入れており、「自分だけのお雛さま」づくりでは、それぞれ体の形から顔の表情まですべて自分で作る、素敵な作品ができました。四季折々の行事に利用者さん一人ひとりに合ったやり方を工夫し、作る喜びを感じながら制作の時間を楽しんでいます。

5月には赤い羽根募金助成金で、「陶芸窯」を設置しました。どんな作品を作ろうかと楽しみにしています。



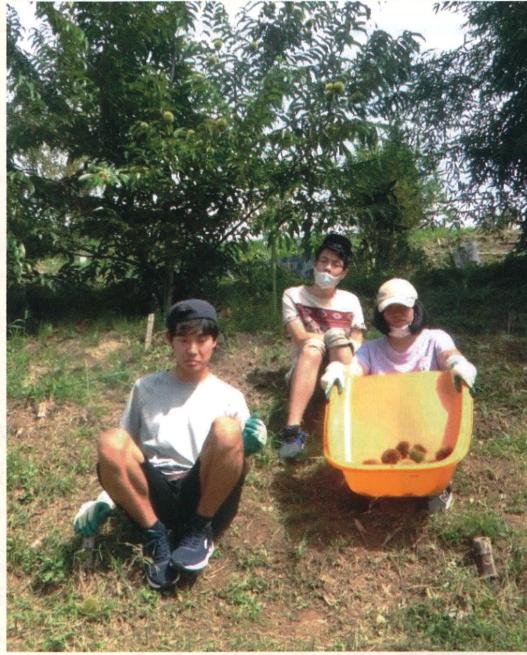
オンプ♪が体中を走ります。ピアノから流れる音や楽器そのものを五感で感じ、笑顔がフロアいっぱいに広がります。

どんな時でも、仲間と一緒に笑い、楽しみ、支え合う「共に生きる」ということを考え、一人ひとりの笑顔を大切に、これからも活動していくたいと思います。
(矢野)

コロナ禍と歯科検診



栗の収穫



生駒山麓公園での花壇整備



歯科検診ありがとうございます。

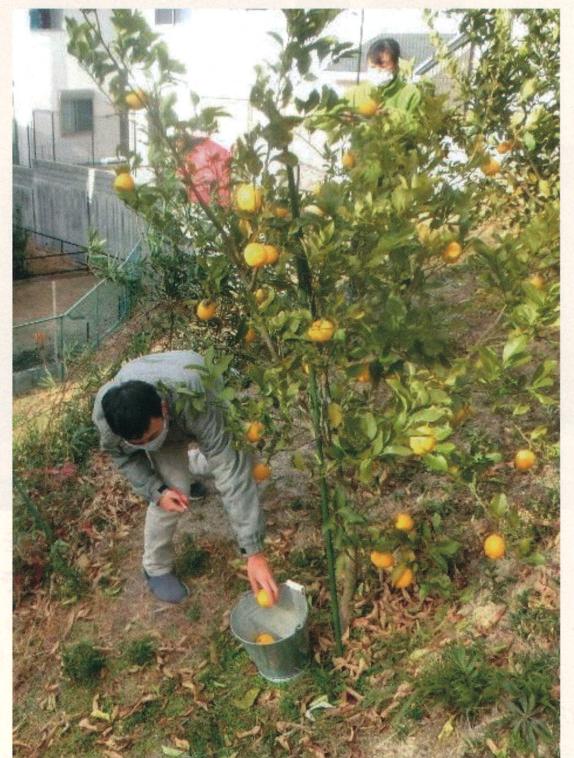
正田歯科医院・正田晨夫先生、ほうたつ歯科医院・寶達照樹先生、田中歯科医院・田中和宏先生が昨年に引き続き、歯科医の先生方のご協力をいただき検診を実施しました。6月7月の4回にわたり、28人の利用者のみなさんが受診予定です。

コロナウイルス感染予防から、生活介護では仕上げ磨きをしばらくのあいだ休止しています。そんな時だけに事業所で歯科検診は本当に助かります。

先生方の優しいお人柄に利用者のみなさんも保護者もそして職員も感動し

生活介護 華で厳る

「華で厳る」の敷地内にある法面では、さまざまな果実や植物を育てています。栗拾い、レモン収穫、山菜採りなどが身近に体験できる魅力的な場所です。今はまだ急勾配で上り下りが難しい場所が課題として残っていますが、いつの日かは、すべての利用者さんと収穫する楽しさ、感動や喜びを味わえる日が来ることを目標にこれからも頑張ります。



レモンの収穫

「華いろ畠」でも、季節の野菜を植えています。今回は土作りにも力を入れたので、今までとはひと味違う野菜ができると期待しています。水やりや草引きなど、作業を通じて四季のささやかな移ろいを感じ、収穫だけでは味わえない喜びがここにあります。これからも楽しみを利用者さんと共に見つけていくことでワクワクする日を作っていきます。

生駒市の生駒山麓公園(株)モンベル様からの委託事業「花のいろどり事業」で花壇整備を行っています。広い公園の中、豊かな自然を感じながらの活動です。いつかは「華で厳る」で育てた花もこの公園の中に咲かせ、その花を見て笑顔になる方がひとりでも増えればと思っています。

季節の移り変わりを肌で感じる機会もいつもの年より減ってしまいましたが、こんな時だからこそ、利用者さんの活躍できる環境つくり、そして、生駒の自然の豊かさに力をもらいながら、元気と笑顔溢れる日々を目指します。(東本)



富雄中学校ボランティア部の生徒さんより心のこもった手作りプランターとマリーゴールドをいただきました。

「きららの木」で健康診断を実施しました!



奈良市総合医療検査センター（メディカルなら）による巡回健康診断を3月24日に「きららの木」で実施しました。生活介護利用者のみなさんと職員が対象です。病院や専門的な施設に不安な気持ちを持つこともある利用者のみなさんにとって、慣れ親しんだ事業所での健康診断は、待ちに待った夢の実現でした。

血液検査では、オプションを希望される利用者の方々が多く、健康への意識の高さもうかがえました。

胸部レントゲン撮影車では、静かに順番を待ちました。
時間のロスなくし、スムーズに撮影ができました。



採血も落ち着いて、しっかりとできました。

この日のために、生活介護「きららの木 いろ葉」と「華で厳る」では毎日、終礼の前にレントゲン撮影と採血の「事前練習」を行いました。本物のレントゲン撮影車を動画に収めて視聴し、模擬体験をしました。また、利用者の皆さん方が実際に採血を受ける様子を写した動画を毎日視聴。さらに、段ボールで作成した箱製のレントゲンカメラを使った模擬撮影も体験して、本番に備えました。

本番が待ち遠しい人、少し怖い人、それぞれに感想を持ち寄り、集中して取り組みました。



健診は職員も受けました。

当日は、大型の胃・胸部検診車が「いろ葉」の玄関前に到着。配られた受診票を持って問診を受けた後、事前の準備が功を奏して、大きな混乱もなく健診は終了しました。

利用者のみなさんと職員の病気の予防、早期発見で元気な毎日が送れるように、今後も、命と健康を守る健康診断を継続して受けたいと思います。

計画相談・障害児相談支援 相談支援センター きららの木 きらきら

相談員の構成は6人体制です。社会福祉士や特別支援学校の元教員、当事者の保護者など、さまざまな背景を持ちながら専門性を深めてきたメンバーでチーム編成しています。

サービスの利用を希望する障がいのある人のご意向を丁寧にうかがい、最も適切なサービスの組み合わせを検討し、「トータルプラン」となる総合的な「サービス等利用計画案」「障害児支援利用計画案」を作成します。

「寄り添う」とは何かを問い合わせつつ、関係機関と連携を図り丁寧に進めていきたいと思います。（江川）

行動援護・居宅介護・移動支援 スマイルライフきららの木

自宅で自立した日常生活や社会生活が送れるような支援とともに、外出する楽しみや喜びを味わってもらうための外出支援も行っています。

昨年来、「3密」を避けることを徹底するなど、できる限りの感染対策を実施して、たぬきの焼き物（信楽焼）で知られる甲賀市信楽町や生駒市の生駒山上遊園地に出かけ、楽しい1日を過ごしました。梅や桜を鑑賞するドライブも実施しました。

今は、感染予防を徹底したうえの楽しみ方で過ごし、コロナウイルスが終息すれば、利用者みなさんの希望に応え、今まで以上の楽しい活動を数多く実施していきます。（細井）



生駒山上遊園地、楽しみました。

短期入所 きららの木 ショートステイ月華



食事もボリュームがあっておいしいと、人気を得ています。

令和2年9月に事業を開始しました。ご家族が病気などの理由で一時的に家庭での生活が困難になった際の支援を行っています。ご家族がレスパイトを取っていただくために、利用者さんを受け入れる役割も果たしています。

食事・入浴・就寝の支援は、普段支援させてもらっている職員が主に行うため、利用者さんには深い安心感があります。また、ご家族と離れて寂しい思いをなされないように、職員一同精一杯ご家庭で過ごされている時と変わらないよう、あたたかい家庭的な雰囲気づくりに取り組みます。（牧田）

「きららの木」の新しい仲間です

あたたかな春の風が子どもたちをやさしく包み込んだ2021年4月1日、1階に生活介護「瑞い実」と短期入所「きららの木 ショートステイ月夢」、2階に放課後等デイサービス（重症心身障害児）「日向ここ」が入る施設が開所しました。

新しい建物のいたるところにお祝いのステンドグラスがあります。ご寄附いただいた作家の込められたメッセージが私たちをあたたかく包み込みます。

1階の訓練作業室は、全面の床暖房で寒い冬も暖かく活動できます。2階には、電動昇降シャワーチェア付き機械浴や、大型の感覚統合遊具も導入しました。またすべての部屋に大きな窓があり、太陽の陽射しや四季折々の風を感じながら明るい気持ちになる建物です。

（美馬）

生活介護 あお 瑞 い 実

3つ目の生活介護の事業所「瑞い実」が開所しました。きららの木のロゴマークの木には、赤い実がついています。まだ熟しない新たなあおい実がつきました。未来には、それが熟して赤い実（親生きあとの居場所）でいっぱいになります。「瑞」は、「3つの美しいたまを縦にひもで通した」象形（「玉」の意味）と「水分を得て植物が根をはり発芽した」象形からできた漢字です。

実が色づく前のまだ「あおい瑞々（みずみず）しい実」を意味しています。利用者のみなさんが今を大切に、笑顔あふれる、日々の生活がより豊かな未来につながる、いつも瑞々しい活気ある事業所を目指していきます。

常に利用者のみなさんの主体性を尊重し、意思決定を大切にしています。利用者のみなさんと共に考え、日々の仕事や活動などの内容を創意工夫していきます。旅行など様々なイベントや地域との共生に向けた活動を造り上げていきます。すでにある生活介護「きららの木 いろ葉」「華で厳る」との交流も深めながら、同様に活動してまいります。

「一人ひとりを人として大切に」というきららの木の理念のもと、きららの木職員一同で、きららの木に付いたばかりの「瑞い実」を大切にし、真っ赤な実に育てていきます。



朝から自主トレ開始！ 気合入ってます。

放課後等デイサービス（重症心身障害児）

ひなた
日向ここ



お日さまの光がぽかぽかと降り注ぐ「日向」のようなあたたかい場所。一人ひとり「個々」を大事にする場所。今、この時、この場の「此処」を大事にする場所。この三つが「日向ここ」という名前の由来です。

大きな窓からは、太陽の光がやさしく降り注ぎます。子どもたちも職員も明るく、あたたかい気持ちになります。建物の持つ力も借りながら、あたたかく「ここ」を大事にしていきます。三碓町へ移転したことで、三つの建物が一緒にになりました。



「たのしいりーふ」には芝生の園庭があります。生活介護「きららの木 いろ葉」には大きなホールがあります。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後は、「たのしいりーふ」のお友だちやいろ葉のみなさんと一緒に、交流の輪を広げ、楽しい時間が共有できるプログラムを考えています。「日向ここ」だけではできないことにもチャレンジします。

日向ここ（きらら）は開所当初から、「子どもたちの口に入るものは、安心して食べられる、本物の味のもの」を課題にしてきました。この度、本部元へ引

越して、職員の管理栄養士に相談し、手作りで添加物の少ない質の良い、デザートやスープなどを「日向ここ」の子どもたちのおやつにすることにしました。念願のおやつ革命！ 新たな一步がスタートしました。

「日向ここ」には、看護師、作業療法士、音楽療法士の職員がいます。顔が見える環境のなか、「チームきららの木」として互いに育ち合い、学び合いながら、子どもたち、利用者の皆さんを中心にして進化していきます。



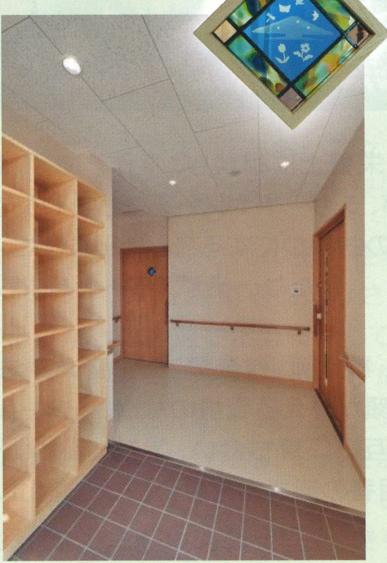
音楽療法士によるプログラム♪



瑞い実・きららの木 ショートステイ月夢



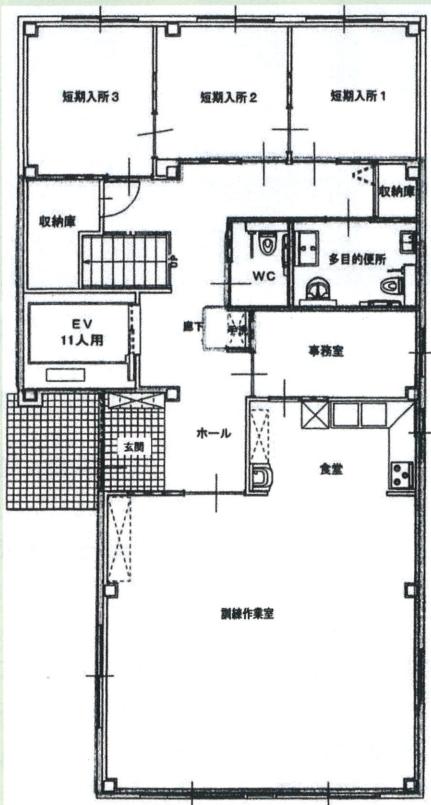
吹き抜けの階段



玄関



「きららの木 ショートステイ月夢」の居室



多目的トイレ ベッド付

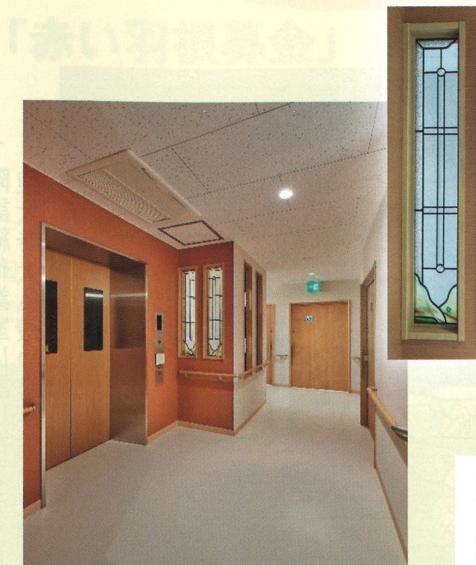


清潔な食堂

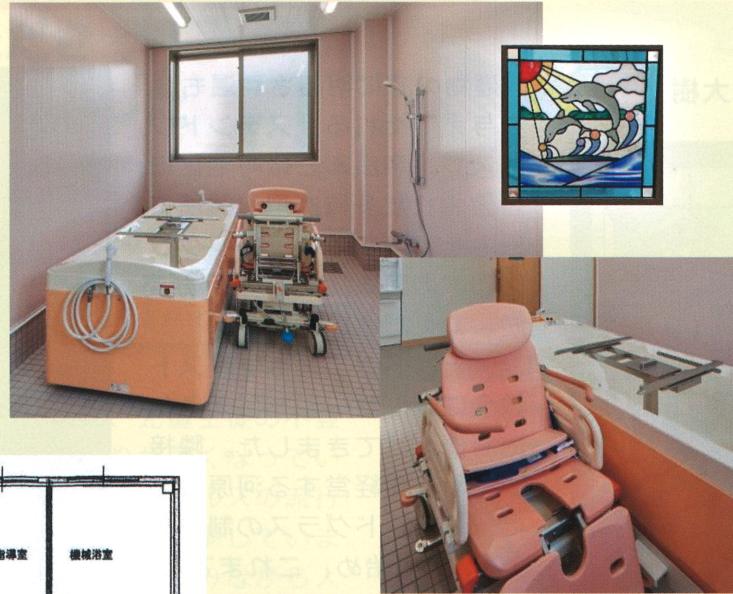
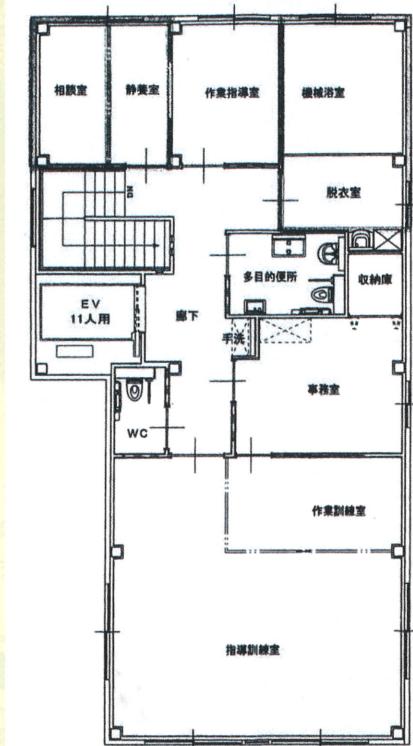
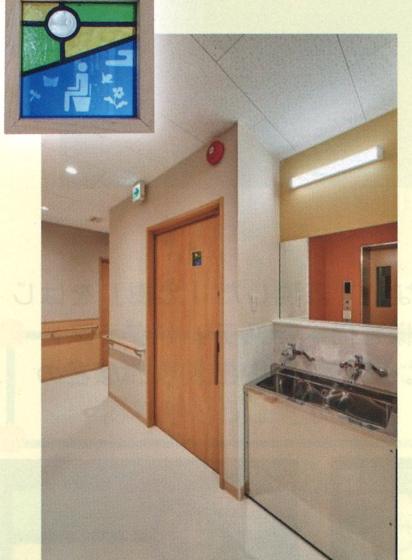


床暖房のある訓練作業室

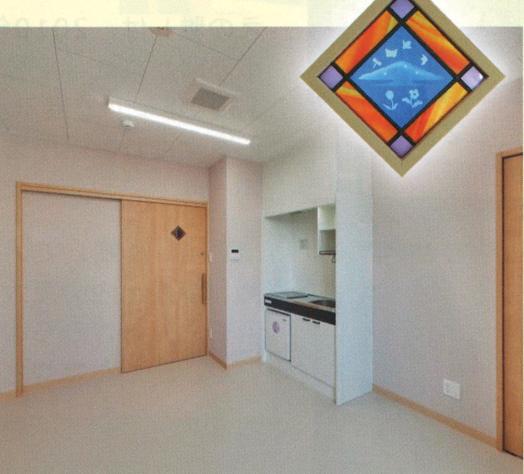
日向ここ



エレベーター



車いすでも快適に入浴できます



事務室



指導訓練室

瑞い実・日向ここ・きららの木 ショートステイ月夢 ステンドグラスをご寄贈いただきました

「大樹」



2階



2階 指導訓練室
床に映し出された影も美しい。

河原さんから作品を寄贈していただいたのは、今回が初めてではありません。生活介護「きららの木 いろ葉」の利用者の家族として、これまで「きららの木」に対して継続して支援していただき、「華で厳る」や「たのしい りーふ」などにも貴重な作品を多数、お贈りいただいています。

河原さんは「ステンドグラスを通して光は、心をやさしく癒してくれます。これからも、少しでも気持ちが穏やかになるお手伝いができるかもしれません」と話しています。

1階



1階訓練作業室に設けたステンドグラス。東大寺大仏殿や鹿が描かれています。



きららコミュニケーションズ

「赤い羽根募金」から助成をいただき 陶芸釜を設置しました

「赤い羽根募金」が採択されました。「人と人をつなぎ、一人ひとりの生きがいを創る『陶芸』」をテーマに応募し、陶芸窯が「きららの木 いろ葉」に入りました。華で厳るに続き2台目となります。



一人暮らしの人が増え、児童生徒の不登校などで社会とのつながりが薄くなっていることに加え、新型コロナウイルスの流行によって社会活動が大きく減少しています。そんな時だからこそ、楽しみながら人と会いつながる「陶芸活動」に取り組みます。自分のいい作品を生み出していただきたいと思っています。



地域と共に

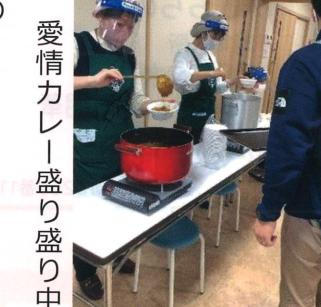
鳥見地区社会福祉協議会さま
ありがとうございます



鳥見地区社会福祉協議会の皆さんと、ボランティアの方々が「おいしいカレーをもりもり食べて、コロナに負けず元気に過ごして」と、昨年度から開いていた地域食堂「鳥見ン家カレーランチ」が、6月で終了しました。

コロナ禍の中、地域の子どもたちのために活動を継続していただいている鳥見地区社会福祉協議会の皆さん、地域の子どもさんを中心たくさん笑顔に出会い、おいしいカレーを味わいました。

ボランティアの方の
愛情カレー調理中



マリンバのご寄贈 ありがとうございます

「きららの木 いろ葉」に通うご利用者さんご家族から、マリンバをご寄贈いただきました。

2階ホールに運び込まれたマリンバは、既に軽快な音を響かせています。これから、新しい楽器の音を、みんなで楽しめます。

ありがとうございました。

愛情カレー盛り盛り中
コロナ禍のためビデオを見ながら黙食中



通常総会

令和3年6月9日

過日、通常総会を無事開催しました。

認定NPO法人としての初めての社員総会でした。社員数も54名に増員となり、全ての案件が滞りなく満場一致で可決されました。理事、監事、評議員の皆さん、2年間よろしくお願ひいたします。

コロナ禍ではありましたが、感染対策を徹底して施し開催しました。社員の皆さんのご理解のもと、ほとんどの方が出席されました。

4月から開所した新規事業、認定NPOとは。今後の賛助会費の使途を明確にし、法人のこれからの方針性を社員の皆さんと確認しました。



役員及び組織図

役 員

理 事 (7人)

理 事 長 江川美奈子
副理事長 奥田 芳久
理 事 古木 一夫
理 事 上司 永照
理 事 中村 大蔵
理 事 荒木 範子
理 事 竹島 良子

監 事 (1人)

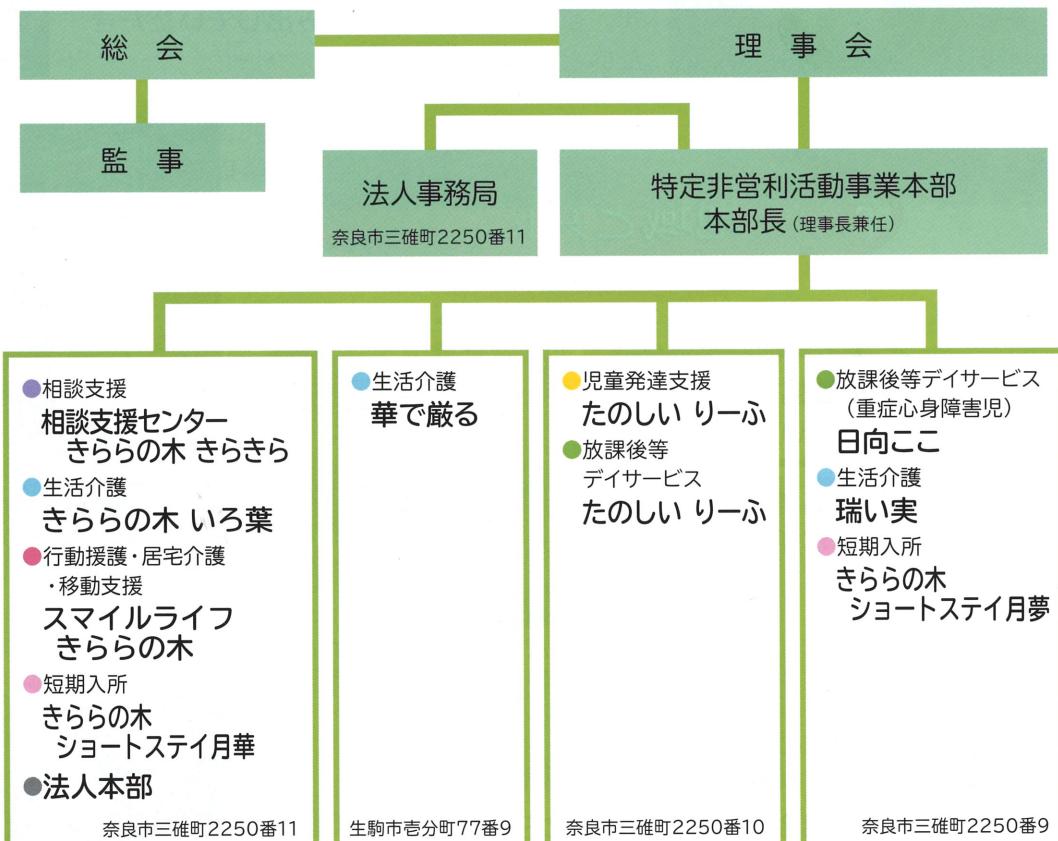
中川 正成

評議員 (2人)

奈良東養護学校 田中 秀治
奈良西養護学校 家田 紗綾

その他の役員

社 員
賛助会員
ボランティア
後援団体 等

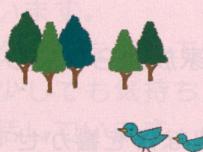


スタッフ募集

正職員・契約職員・パート職員

詳しくはホームページ
(求人)をご覧ください

ホームページの充実とともに、
Instagram・YouTubeでの
情報発信にも取り組んでいます。
ご覧ください。



ホームページ

Instagram
(インスタグラム)

Facebook
(フェイスブック)

